

平成22年度

事務事業評価表(平成21年度の実績評価)

記入年月日  
平成 22 年 4 月 12 日

Table with columns for 事務事業名, 区分, 事務事業No., 課内No., 政策体系, 行政評価施策名, 政策名, 施策名, 基本事業名, 財務会計上の位置付け, 予算科目, 法令根拠.

[Do] 1. 事務事業の現状把握 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入  
事務事業の概要(事務事業の内容、担当者が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

(事業の内容)  
桜川市の特別支援学級に在籍する児童・生徒に対して日常と異なる場で、いろいろな活動を体験させ、基本的な知識や技能を習得させることを目的として補助金を交付している。  
(事業主体の業務内容)  
1 合同遠足 2 心と心のふれあいフェスティバル 3 手をつなぐ子らの作品展・交流会の開催  
(教育委員会の業務内容)  
補助金申請書の受理、補助金交付決定、補助金の支払い、実績報告書の受理及び審査事務

Table with columns for (1) 事務事業の目的, ①手段, ②対象, ③意図, ④結果, ⑤活動指標, ⑥対象指標, ⑦成果指標, ⑧上位成果指標.

Table with columns for (2) 指標値の推移, 区分, 単位, 18年度(実績), 19年度(実績), 20年度(実績), 21年度(実績), 22年度(計画), 23年度(目標).

Table with columns for (3) 投入量(事業費)の推移, 18年度, 19年度, 20年度, 21年度, 22年度, 23年度, 期間限定総投入量.

(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
真壁町と大和村の教育研究会合同事業として、10年以上前から行っている。合併後は、3台の庁用バスを使わせて頂き、行っている。  
市内の特別支援学級の児童・生徒が一堂に会し、それぞれの役割分担を果たしたり、多くの友達と交流したりすることにより、協力する心や責任のある態度を養ったりすることができる貴重な機会となっている。

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
特に聞いていない

事務事業名	特別支援学級事業参画事業	事務事業No.	31129019	所属課	学校教育課
-------	--------------	---------	----------	-----	-------

【See】 2. 評価の部 \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的 妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) 小・中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒に、合同遠足などを通して、一人一人の能力に応じた様々な体験活動をさせ、基本的な知識や技能を身に付けさせることは、学校教育の充実に結びつく。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) 障害児教育を充実させることは、市教育委員会の責務である。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である
	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?) 対象・意図とも適切である。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である
有効性	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) 心身に障害のある児童・生徒の生活力を高めることを「結果」として様々な事業運営をしている。 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 充実した障害児教育が図れなくなる。 <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) 他に手段がある <input type="checkbox"/> ⇨ 具体的な手段、事務事業名 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に類似事業はない <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)) 最小限の支出で事業を起こしているため、削減の余地はない。 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?) 市が事業主体に対し補助金を適正に交付するための(補助金交付申請の受理及び交付決定等)最小必要限の事務である。 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) 小・中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒全員を対象としているので、受益者負担は公平・公正である。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	桜川市の特別支援学級に在籍するほとんどの児童生徒が交流会や合同遠足・手をつなぐ作品展に参加し、多くの友達と交流したりすることにより、協力する心や責任のある態度を養ったりすることができる貴重な機会となっている。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
(3)-1 改革改善策																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/> 未
(3) 2次評価における改革改善案	(4) 2次評価における指摘事項